

## 聞かせて！言わせて！

### 「食品照射に懸念を持つ・反対する理由」

日時：2018年7月6日（金）13:00～15:30

（第55回 アイソトープ・放射線研究発表会 最終日）

場所：東京大学弥生講堂アネックス セイホクギャラリー

（地下鉄南北線 東大前駅1分、東大農学部正門入ってすぐ左側）

申込：下記サイトから事前参加登録をお願いします（先着50名）

日本アイソトープ協会／アイソトープ・放射線研究発表会／一般公開  
研究発表会のご案内 [https://www.jrias.or.jp/isotope\\_conference/index.html](https://www.jrias.or.jp/isotope_conference/index.html)

一般公開・事前参加登録 [https://www.jrias.or.jp/isotope\\_conference/symposium/index.html](https://www.jrias.or.jp/isotope_conference/symposium/index.html)

参加費：無料（研究発表会本体にも参加の場合は、そちらの参加登録と参加費が必要です）

今回は食品照射への懸念や反対意見に焦点を当て、どんな懸念があるのか、なぜ反対しているのか、その理由と背景を探りたいと思います。

科学的事実や知識の共有の問題なのか、原子力・放射線に対する何となくの不安や嫌悪感からなのか、行政や専門家への不信感なのか、それとも・・・？

- ミニ講座 放射線と食品照射の基礎知識&話題提供
- パネル討論  
コーディネーター：毎日新聞 元編集委員 小島正美  
パネリスト：（一社）消費者市民社会をつくる会 代表理事 阿南 久  
主婦連合会 会長 有田芳子  
食のコミュニケーション円卓会議 代表 市川まりこ  
量研・高崎研 放射線生物応用研究部長 小林泰彦
- 全体討論 会場の参加者を交えた意見交換

食品への放射線照射は、香辛料・ハーブ類や冷凍食肉・魚介類の殺菌、熱帯果実や柑橘類の検疫処理（殺虫）など世界各国で実用化されています。日本では、ジャガイモの照射芽止め以外は食品衛生法で禁止されたままとなっています。

食品衛生と消費者利益のあり方を考えるために、また、より良い日本の未来を拓くために、様々な立場の人々と一緒に考えてみたいと思います。

**主催**：食のコミュニケーション円卓会議 <http://food-entaku.org>

**共催**：公益社団法人日本アイソトープ協会 <http://www.jrias.or.jp/>  
日本食品照射研究協議会 <http://www.jrafi.jp/>

**問い合わせ**：食のコミュニケーション円卓会議 Tel:090-9644-0008 E-mail:foodentaku@gmail.com